



平成 19 年 1 月 5 日

各 位

会 社 名 カップ・クリエイト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 山下 昌 三
(コート番号 7421 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役財務部長 中 井 鉄太郎
電 話 番 号 048- 650- 5100

平成 19 年 5 月期中間期及び通期の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 9 月 26 日に公表した平成 19 年 5 月期 (平成 18 年 6 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 5 月期中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 6 月 1 日 ~ 平成 18 年 11 月 30 日)

(1) 中間連結業績予想数値の修正

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	29,800	100	1,000
今 回 修 正 予 想 (B)	29,800	190	770
増 減 額 (B - A)	0	90	230
増 減 率 (%)	0.0	90.0	23.0
(ご参考) 前中間期実績 (平成 17 年 11 月期)	31,627	284	1,622

(2) 中間個別業績予想数値の修正

(単位 : 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	29,500	200	100
今 回 修 正 予 想 (B)	29,500	310	290
増 減 額 (B - A)	0	110	190
増 減 率 (%)	0.0	55.0	-
(ご参考) 前中間期実績 (平成 17 年 11 月期)	30,450	183	817

2.平成 19 年 5 月期の通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 6 月 1 日 ~ 平成 19 年 5 月 31 日)

(1) 通期連結業績予想数値の修正

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	60,300	1,000	1,500
今回修正予想 (B)	60,300	1,100	850
増減額 (B - A)	0	100	650
増減率 (%)	0.0	10.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 5 月期)	62,950	836	1,620

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 50 円 36 銭

(2) 通期個別業績予想数値の修正

(単位 :百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	60,000	1,000	300
今回修正予想 (B)	60,000	1,100	270
増減額 (B - A)	0	100	570
増減率 (%)	0.0	10.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 5 月期)	60,618	706	1,791

(参考) 1株当たり予想当期純損失 (通期) 16 円 00 銭

3. 修正の理由

(1) 中間業績予想数値の修正

当中間期における連結売上高は、298 億円となり平成 18 年 9 月 26 日に発表した業績予想に対し、ほぼ予想通りの進捗となりました。また、連結経常利益につきましては、1 億 9 千万円となり平成 18 年 9 月 26 日に発表した業績予想に対し、9 千万円の増加となりました。個別売上高は、295 億円となり平成 18 年 9 月 26 日に発表した業績予想に対し、ほぼ予想通りの進捗となりました。また、個別経常利益につきましては、3 億 1 千万円となり平成 18 年 7 月 7 日に発表した業績予想に対し、1 億 1 千万円の増加となりました。

しかしながら、今期実行した 16 店舗の閉店に伴い発生した費用が見込み以上であり、特別損失が見込みを大幅に上回りました。

これらを勘案し、当中間連結会計期間の売上高は 298 億円、経常利益は 1 億 9 千万円、中間純利益は 7 億 7 千万円に修正いたしました。また、当中間会計期間の売上高は 295 億円、経常利益は 3 億 1 千万円、当期純損失が 2 億 9 千万円に修正いたしました。

(2) 通期業績予想数値の修正

通期の業績予想につきましては、上記の中間業績予想を踏まえ、連結売上高 603 億円、連結経常利益 11 億円、連結当期純利益 8 億 50 百万円にそれぞれ修正いたしました。また、個別業績予想につきましては、売上高 600 億円、経常利益 11 億円、当期純損失 2 億 70 百万円に修正いたしました。

主力の寿司事業におきましては、当初の見込みより先回復に時間を要しておりますが、個別の店舗レベルは着実に上昇しております。現在実施中の諸施策をより浸透させ既存店売上高の底上げに注力していきたいと考えております。

なお、当業績予想の修正による期末配当予想の修正は行いません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上